



## 東京アニメアワードフェスティバル2021

# 「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」 テレビ放送10周年記念・特別上映決定！ 長井龍雪 & 田中将賀の登壇も決定！！

## アニメーション業界の将来展望を考える、 シンポジウムを本年も開催決定！

平素より大変お世話になっております。東京アニメアワードフェスティバル実行委員会及び一般社団法人日本動画協会は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、国際アニメーション映画祭「東京アニメアワードフェスティバル2021(TAAF2021)」を2021年3月12日(金)から3月15日(月)までの4日間、池袋にて開催します。

### 不朽の名作『あの花』を大スクリーンで楽しめる！ 長井龍雪監督&キャラクターデザイン・総作画監督の田中将賀さんが制作秘話を語る！



©ANOHANA PROJECT

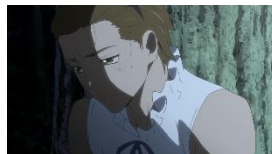
この度、TAAF2021において『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』のテレビ放送10周年を記念し、長井龍雪監督に選んで頂いた、下記の3エピソードを上映することが決定いたしました。

第1話「超平和バスターズ」  
第5話「トンネル」  
最終話「あの夏に咲く花」

また、上映後には長井龍雪監督とキャラクターデザイン・総作画監督の田中将賀さんが登壇し、当時の思いや、10年経った今だからこそ話せる制作秘話を語っていただく予定です！是非お楽しみください！！！！



第1話「超平和バスターズ」



第5話「トンネル」



最終話「あの夏に咲く花」

(作品あらず)

子供時代の事故をきっかけに心を閉ざしてしまった仲良し6人組。  
夏のある日、事故で死んでしまった彼女が彼らの前に現れる。しかし彼女は戻ってきた理由を覚えていなかった。彼らはその<理由>を探すためにもう一度集まり、止まっていた時間が少しずつ動き始める。彼女は何故戻ってきたのか？それは、彼女が願った、ひと夏の奇跡——

### ●『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』10周年記念特別上映

- ・日程：3月13日(土) 16:30～18:30
- ・会場：池袋HUMAXシネマズ
- ・登壇：長井龍雪(監督) 田中将賀(キャラクターデザイン・総作画監督)
- ・料金：1,200円(※一般・学生以下共通/当日券は200円増し)

※当日券を含めオンライン販売のみ

詳細は下記の公式ホームページをご覧ください

(<https://animefestival.jp/screen/list/2021special05/>)

# 「アニメーション業界の展望」について語るシンポジウム開催！ アニメーション業界の第一線で活躍するプロが登場！

今年のTAAFも注目のシンポジウムが充実！！アニメーションの『今』を探り、実情を見つめ直し、『これから』のアニメーション、アニメーターやスタッフ、業界、組織の在り方などを語り合うシンポジウムを実施します！また、本年はオンラインでの無料配信も実施します。

## ●シンポジウム①：アニメーション業界の将来展望1

### ～オリジナルコンテンツをどのように実現させたいか～

- ・日程 : 3月14日(日)11:00～12:45
- ・会場 : 豊島区庁舎 5階 507～510会議室
- ・料金 : 無料 ※当日申込を含めオンライン申込のみ
- ・登壇者: 礒部亜希子(株式会社ロボット コンテンツ部 プロデューサー)  
伊藤大樹(株式会社xpd ドワーフ事業部 プロデューサー)  
加藤タカ(デザイン/監督/脚本)
- ・司会 : 竹内孝次(TAAF フェスティバルディレクター)

詳細は下記の公式ホームページをご覧ください

(<https://animefestival.jp/screen/list/2021symposium01/>)

海外と日本では、全制作作品に占めるオリジナル作品の数が大きく違う。日本は海外に比べ圧倒的にオリジナル作品が少ないのだ。しかし、ネット配信作品が急激な膨張を見せている今、オリジナル作品の需要もそれに合わせて増えているように見られる。そこで、オリジナル作品を生み出している創作者に登壇して頂き、「如何にして作品を生み出すか」、「どのようにして制作費を獲得するか」、「あるいはどのようにして共同製作者を見つけるか」を伺う。更に、オリジナル作品を生み出す上での日本の問題点や、日本でも海外と同じようにオリジナル作品が作れるスキムは生まれないのか等を討議する。

## ●シンポジウム②：これからのアニメーション制作 ～フリーウェアの可能性～

- ・日程 : 3月14日(日)13:30～15:15
- ・会場 : 豊島区庁舎 5階 507～510会議室
- ・料金 : 無料 ※当日申込を含めオンライン申込のみ
- ・登壇者: 稲村武志(作画監督)  
小森よしひろ(株式会社白組、Director / Animation Director)  
布山タルト(東京藝術大学 大学院映像研究科アニメーション専攻 教授)
- ・司会 : 竹内孝次(TAAF フェスティバルディレクター)

詳細は下記の公式ホームページをご覧ください

(<https://animefestival.jp/screen/list/2021symposium02/>)

日本では年間400タイトル以上の新作のアニメーションが作られている。それらの制作に使われているソフトウェアのサブスクリプション料が膨大な金額であることは想像に難くない。一方で世界にはすでにアニメーションを作るためのフリーウェアが、多数出現している。それらの中で「Blender」というソフトを中心に取り上げながら、アニメ業界のプロや教育者たちは、アニメーション制作用フリーウェアをどう見ているのかを伺う。アニメーター、3DCG監督、プロデューサー、教育者等、異なった視点での意見交換を行う。

## ●シンポジウム③：アニメーション業界の将来展望2

### ～海外との共同制作はどのように実現するのか～

- ・日程 : 3月14日(日)16:00～17:45
- ・会場 : 豊島区庁舎 5階 507～510会議室
- ・料金 : 無料 ※当日申込を含めオンライン申込のみ
- ・登壇者: 望月重孝(株式会社アスラフィルム CEO/ショーランナー)  
森下美香(映像産業振興機構 VIPO 統括部長)  
山口貴也(クランチロール グローバル コンテンツ ストラテジー シニア・ディレクター)
- ・司会 : 竹内孝次(TAAF フェスティバルディレクター)

詳細は下記の公式ホームページをご覧ください

(<https://animefestival.jp/screen/list/2021symposium03/>)

日本人は海外の良い処を取り入れて、自分独自のものを作り出すのが得意だと思われていたし、思ってもいた。しかし、こと映像の共同制作に関しては、欧州だけでなく、アジアの諸国にも大きく水を空けられている。十分な制作費を確保する上でも、広い市場を獲得する上でも、共同制作は必須であるというのが、諸外国の常識である。「日本の共同制作は何故進まないのか。」という課題について、制作会社自らが進められるような共同制作のあり方、工夫などを海外のバイヤー等を含む諸事情に精通した方々に伺う。

# 新型コロナウイルス感染症対策について

東京アニメアワードフェスティバル2021は、東京都の「事業者向け感染拡大防止ガイドライン」及び全国興行生活衛生同業連合会の「映画館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等を遵守し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催いたします。

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、開催内容が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

## ■各会場での感染予防の取組

- ・会場内にアルコール消毒液を設置いたします。
- ・会場の定期的な換気を行います。
- ・会場内の手すり・ドアノブ等の消毒を入れ替え時に行います。
- ・座席数(キャパシティ)に対して50%以下の入場者数とし、前後左右の1席ずつ間隔を空けた座席配置を行います。
- ・ゲスト登壇のあるプログラムについては、登壇者と座席までの距離を2m以上空け、複数名の登壇者がいる場合は、その間にアクリル板を設置いたします。※ゲストがマスクを着用したままで登壇する可能性がございます。
- ・全てのスタッフ・関係者に対し、検温を行い、マスクの着用、こまめな手洗い、手指のアルコール消毒を徹底いたします。
- ・各会場の施設管理者による感染対策もしておりますので、詳細は各会場の公式HP等をご確認ください。
- ・感染者が発生した場合には、医療機関や保健所等と速やかに連携し、感染拡大を最小限に抑えるように努めます。

## ■ご来場の皆様へのお願い

- ・チケット購入又は事前予約が必要なプログラムは、全てオンラインでお申し込みいただきます。当日券もオンライン販売のみとなりますので、ご了承ください。
- ・ご来場前に、検温などで体調をご確認いただきますようお願いいたします。
- ・発熱、咳、息苦しさ、強いだるさなどの症状がある場合は、体調を最優先いただき、ご来場を控えていただきますようお願いいたします。
- ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合は、ご来場を控えていただきますようお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある方、同居家族や身近な知人の感染が疑われる方、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への渡航並びに当該国・地域の在住者との濃厚接触がある方も映画館への来場をお控えください。
- ・ご来場の際は、必ずマスクをご着用ください。着用がない場合、ご入場をお断りさせていただく場合がございます。
- ・ご入場の際に、非接触型体温計による検温を実施いたします。検温の結果、37度以上の発熱が確認された場合、ご入場をお断りさせていただきます。
- ・こまめな手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。
- ・ご鑑賞の際には、会話や発声はお控えください。声援や歓声が起こった際には中止させていただく場合がございます。
- ・整列時や入退館時のソーシャルディスタンスの確保など、感染予防及び拡散防止にご配慮ください。
- ・厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」のインストールのご協力をお願いいたします。
- ・会場で感染の疑いある方が発生した場合、保健所等の公的機関に個人情報を提供する場合がございます。取得した情報は目的外で使用せず、一定期間後に削除いたします。
- ・安全の確保やその他の都合により、止むを得ず中止にする場合がございます。その場合、交通費や宿泊費等の補償はいたしません。
- ・東京都内の感染状況に鑑み、イベント終了後の会食はお控えいただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- ・各会場が新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施している個別の対策や依頼事項がある場合は、併せてご協力いただきますようお願いいたします。
- ・体調不良等、上記項目にてご来場をお控えいただくようお願いしている条件に当てはまる方のみ、チケットの払い戻しをいたします。その場合は、必ずTAAF事務局(info@animefestival.jp)までご連絡ください。

# <東京アニメアワードフェスティバル 2021開催概要>

■日 程：2021年3月12日(金)～3月15日(月)

■会 場：東京・池袋

■主 催：東京アニメアワードフェスティバル実行委員会、一般社団法人日本動画協会

■共 催：東京都

■事務局：東京アニメアワードフェスティバル実行委員会事務局  
(一般社団法人日本動画協会内)



## ■東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)とは

2021年で8回目の開催となる東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)は、2002年に「東京国際アニメフェア」の一環として行われた「東京アニメアワード」を独立・発展させた国際アニメーション映画祭です。本フェスティバルは、「次世代のアニメーション制作を担う人材の発掘・育成等を行い、東京のアニメーション文化と産業の発展・振興を図ること」及び「東京の魅力を発信し、東京の観光振興に資すること」を目的とし、『東京がアニメーションのハブになる』を合言葉に、高いクオリティとオリジナリティに富む世界中の作品を東京で上映し、世界中のアニメーションを愛する人々との交流を図ること、クリエイターや観客に刺激と感動を提供すること、そしてその感動や刺激を糧にアニメーションの新たな波を東京から世界へ発信することを目指します。

## ■各アワードの紹介

### ◎コンペティション部門

広く国内外から、プロ・アマを問わず募集しています。60分以上の長編部門、30分未満の短編部門のそれぞれから「グランプリ」「優秀賞」他各賞を選出します。選考の柱となるのは、オリジナリティ、先進性、確かな技術、大衆性です。特に本年度から短編部門内に創設された「学生賞」は、日本でアニメーションを学ぶ学生のための賞となります。会期中に劇場にて、ノミネート作品の数々を国内外の制作者と共に楽しみ頂きます。

### ◎アニメオブザイヤー部門

日本国内で上映・放送された作品の中から、アニメファンが選ぶ「アニメファン賞」、アニメ業界のプロが選ぶ『これは観ておきたい』と思う「作品賞」、『この人に注目してほしい』と思う「個人賞」が投票で選ばれます。

### ◎アニメ功労部門

アニメーション産業及び文化の発展に寄与した方々を顕彰するものです。アニメーションの技術、表現だけでなく、人材育成を含む教育活動、国際交流など、広くアニメーション産業の社会的地位の向上に貢献された方々に、この賞を贈呈いたします。

※TAAF2021の詳細は公式HPをご覧ください (公式HP: <https://animefestival.jp/ja/>)

## <報道各位からのお問い合わせ>

東京アニメアワードフェスティバル実行委員会事務局(一般社団法人日本動画協会内)

担当: 黒田E-mail: [press@animefestival.jp](mailto:press@animefestival.jp)

<プリマステラ> 貝塚千恵 090-9418-1101 [primastella316@gmail.com](mailto:primastella316@gmail.com)

※読者・視聴者からのお問い合わせは公式HPまで